

事故や病気の後に・・・

こんな症状で困っていませんか

高次脳機能障がいかもしれません

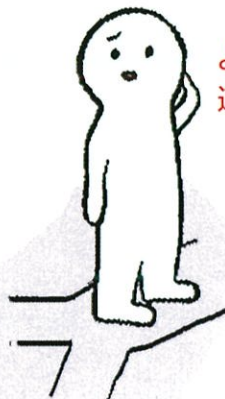
物忘れをするようになった
新しいことが覚えられない



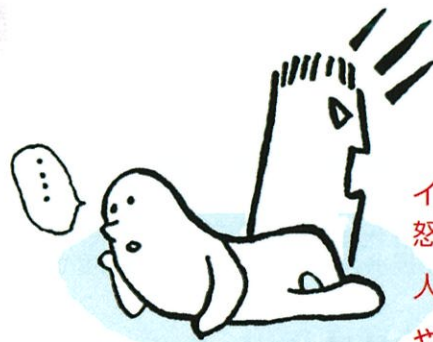
気が散りやすい
集中が続かない



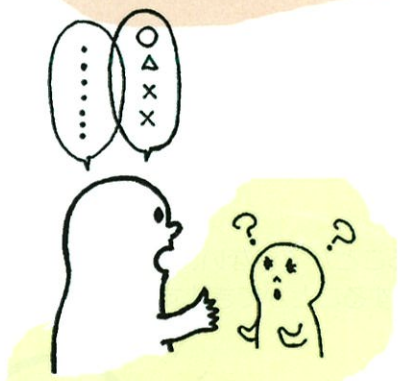
よく
道に迷う



イライラして
怒りっぽい
人柄が変わった
やる気が起きない



話そうとしても、
うまく話せない



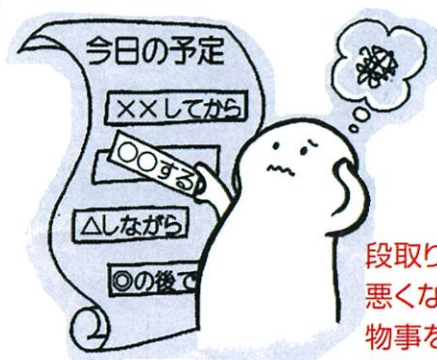
準備ができていなくても
行動してしまい、
同じ失敗をする



お金の管理や
手続きごとが難しくなった



段取りが
悪くなった
物事を順序立てて
進められない



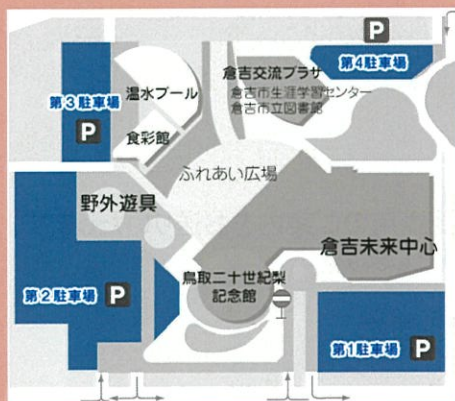
交通事故などによる頭部外傷や、脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患、その他の病気により脳が損傷を受けると、身体の障がいとは別に、思考や記憶、注意、言語などの脳機能の一部に障がいがあることがあります。これが、高次脳機能障がいです。外見ではなかなか分からないため、周囲の人が理解することが難しく、本人自身も自分の障がいを十分に認識できないことがあります。一人ひとりの症状も異なり、問題点が特定の状況にならないと見えてこないこともあります。

令和3年度第2回 高次脳機能障がい支援研修会

講演 長谷川 千洋先生
神戸学院大学心理学部 教授

「高次脳機能障害の心理過程を考える」

医療・福祉・行政機関関係者、当事者・家族等 どなたでも参加できます。
お申込は、裏面申込先宛て、または下記QRコードから必要事項をご記載の上、お願いいたします。
本研修会はCisco Webex Meetingsを使用したWeb受講と会場視聴で実施いたします。
事前お申込の無い方はWeb・会場いずれでも受講できません。ご注意ください。



令和4年3月26日 (土)

10:00~12:00

定員：215名

(Web：195名、会場：20名)

参加費：無料

会場：鳥取県立倉吉未来中心

(倉吉パークスクエア内)

セミナールーム1

〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5

鳥取県・野島病院高次脳機能センター 共催

(鳥取県高次脳機能障がい支援拠点機関)

支援コーディネーター：望月加奈子 サポート医：竹内啓九

令和3年度第2回高次脳機能障がい支援研修会 参加申込書

ご所属		ご連絡先	
フリガナ お名前	職種	メールアドレス	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン
フリガナ お名前	職種	メールアドレス	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン
フリガナ お名前	職種	メールアドレス	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン

必要事項をご記入のうえ、下記までFAXまたは郵送、メールいずれかで
3月19日(土)迄にお申込下さい。

ご連絡先は、満席の場合にご連絡いたします。
日中、繋がりやすい番号をお書きください。

■お問合せ・お申込

〒682-0863

鳥取県倉吉市瀬崎町2714-1 野島病院高次脳機能センター
支援コーディネーター 望月加奈子 宛

☎ 0858-27-0205(直通) FAX 0858-23-7122

✉ mochiduki_k@nojima-hospital.or.jp

■受講方法

Web受講を選択された方には、ご記入いただいたメールアドレス宛てに受講用のご案内をお送りいたします。
講演3日前になっても案内が届かない場合は上記までご連絡をお願いいたします。

会場視聴を選択された方は、ご来場の際はマスクのご着用をお願いいたします。

メールアドレス・ご連絡先はお間違いのないよう、ご記入下さい。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては受講方法が変更となる場合がございます。ご了承ください。